

### リベラル東大阪

代表質問 笹谷 勇介

## 平成十九年度までに人事評価システムを示せ 多くの問題を抱えての上下水道統合庁舎建設見送りは許さない!

・人事給与と制度  
問 現行の職員給与は、年数がたてば自動的に係長級の給料表に移行し昇給する仕組みとなっているが、この「わたり」制度は、十九年度に廃止するのか。また人事評価システムの構築と勤務実績を給与に反映する制度の検討状況を示せ。  
行政管理局長 「わたり」制度は、十九年度廃止に向けて現在内部検討を進めて

いる。また、人事評価システムの構築と勤務実績の給与への反映は、十七年度の人事院勧告において十八年度から給与構造改革が示され、国においても新たな人事評価システムの構築に向けて試行している。本市においても人事院勧告の趣旨を視野に入れながら総合的な人事政策を構築する中で人材の育成に力点を置いた人事評価システムの見直し

### さわやかな風

個人質問 飯田 芳春

## 上下水道局総合庁舎活用の根拠を示せ

・総合病院の医療職を確保せよ。  
問 医療職においては、特殊勤務手当は見直しせず存続し、検討余地を残すが、今後優秀な医師確保のためどのように対処するのか。  
行政管理局長 医師の待遇改善は強く求められており、他の病院の動向等を見極め、検討してまいりたい。

・集中改革プラン  
問 市長は集中改革プランを尊重し実行するとしているが、市長の支援団体はサービスク切り捨て、市民に痛みを強いる改革と批判している。市長はこの集中改革プランをどのように評価しているのか。  
市長 尊重すべきものと認識している。

・上下水道統合庁舎建設見直しについて。  
問 上下水道統合庁舎建設事業見直しに際し、市民アンケートや市政だよりによる意見募集が行われたが、アンケート調査では総合庁舎活用よりも現水道庁舎耐震化等の意見が多く、意見募集においては、総合庁舎活用との意見はゼロであった。市長が決定した総合庁舎活用は何を判断の根拠としているのか。  
市長 総合的に検討し、決定、判断をした。

た。それにもかかわらず、市長はなぜ上下水道統合庁舎建設を見送る判断をしたのか。  
市長 今回の見直し内容からこれまでの整備計画案からは大幅な転換となる。特に市民アンケートでの厳しい批判の声を踏まえ、市民参加での見直しの公約に基づき、市民の声を最優先すべきとの判断を市長である私が行ったものである。

・大阪外環状線鉄道の新駅設置。  
問 長尾市長が一期目在職中に、本会議において全会一致で請願が採択された大阪外環状線鉄道の柏田駅と加美駅の間における新駅設置について、関係機関との

協議内容や長尾市長の新駅設置実現に向けた決意を示せ。  
市長 大阪外環状線鉄道の運行主体であるJR西日本や大阪府をはじめとする関係者と新駅設置検討会を重ね、駅設置の取り組みを進めている。しかし新駅設置費用については大阪市と本市で折半するという基本合



待ち望まれる大阪外環状線鉄道の柏田、加美間の新駅設置により交通の便がますますよくなります。(衣摺地区)

### 市政を革新する会

個人質問 阪口 克己

## 市民の暮らしを守る 行政の実現を求め

・同和行政について。  
問 報道等により部落差別キャンペーンが吹き荒れる中、同和行政を特別扱いしないとして、施策を全廃することは絶対に許されない。老人福祉等も特別対策で

あり、特別対策を行わないことは行政の目的や存在意義を根底から覆す重大な問

題である。市長は差別をなくしたいという切実な部落大衆の要求に心える市政運営を行うのか。  
市長 差別のない社会の実現に向け、人権尊重の町づくりを進めてまいりたい。

・後期高齢者医療広域連合の設立について。  
問 後期高齢者医療広域連

合の規約、予算、体制等が示されたが、高齢者が安心して医療を受ける権利や安らかに人生を生きる権利が守られるものなのか。  
保険料が年金から特別徴収され、安易に扱うべきでないと考えらるかどうか。  
市長 持続可能な医療制度の構築に向けて高齢者に適切な医療の給付を行うことは大切なことと考える。

・後期高齢者医療広域連合の設立について。  
問 後期高齢者医療広域連

合の規約、予算、体制等が示されたが、高齢者が安心して医療を受ける権利や安らかに人生を生きる権利が守られるものなのか。  
保険料が年金から特別徴収され、安易に扱うべきでないと考えらるかどうか。  
市長 持続可能な医療制度の構築に向けて高齢者に適切な医療の給付を行うことは大切なことと考える。